

■2023年度 豊岡市地方創生事業実施効果検証報告総括表（「第2期豊岡市地方創生総合戦略 第5版」）

資料3

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
------	---

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている						
指 標		基準値 (2019年)	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023年度 実績値	目標値 (2024年)
人口の社会減の緩和（転入－転出） （※兵庫県市町別人口推計調査1～12月）		△442人	△373人	△314人	△283人	△355人	△388人

主要手段－具体的手段		重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023年度 実績値	目標値 (2024年)	2023年度事業
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	○ 豊岡公式ウェブサイト閲覧（セッション）数	秘書広報課	831,716件 (2018年度)	2,117,345件	2,566,680件	1,683,715件	1,631,590件	1,340,000件 (2024年度)	
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	○ 豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数	地域づくり課	118,442件 (2018年度)	144,804件	149,211件	152,654件	131,159件	138,000件 (2024年度)	情報戦略推進（豊岡ファンミーティング、庁内情報発信強化業務、広告宣伝）、ＵＩターン推進（飛んでるローカル豊岡運営業務）、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、企業版ふるさと納税の獲得推進、豊岡スマートコミュニティ推進機構〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、観光事業（国内誘客推進、観光施策評価データ収集等）〔重複〕
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	○ 新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）	地域づくり課	未測定	126人	161人	141人	176人	865人増 (5年間)	ＵＩターン推進（ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡の運営、しごと相談会、就活応援ブック）、ＵＩターン推進（高校生の総合学習等支援）
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	○ 移住組数（窓口相談等利用者）	地域づくり課	38組 (2018年度)	74組	71組	58組	58組	224組増 (5年間)	ＵＩターン推進（民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等）、定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援）、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	○ 豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	経営企画課	41.1% (2018年度)	46.4%	44.7%	45.4%	43.2%	60% (2024年度)	
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	○ IT企業誘致件数	環境経済課	0件 (2019年度)	1件	1件	3件	0件	5件増 (5年間)	IT企業誘致推進、スマート農業推進
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	○ 創業件数	環境経済課	19件 (2018年度)	25件	19件	20件	30件	110件増 (5年間)	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市経業バンクの運用等）、政策アドバイザー設置、豊岡スマートコミュニティ推進機構、新規就農総合支援、豊岡農業スクール、地域おこし協力隊の推進
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	○ 鞆製造品出荷額	環境経済課	104億円 (2019年調査)	106億円	96億円	84億円	95億円	116億円 (2024年調査)	豊岡鞆ブランドPR推進、スマート農業推進〔重複〕、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕
		○ 鞆産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「鞆縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇用者（正社員）数	環境経済課	122人 (2020年度)	—	10人	9人	13人	32人増 (4年間)	
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	○ アーティスト・クリエイター移住者数	地域づくり課	5人 (2019年度)	16人	9人	1人	1人	35人増 (5年間)	多文化共生推進、ＵＩターン推進（ワンストップ窓口・移住イベント出展・民間移住相談窓口業務等）〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、専門職大学連携推進（移住等促進事業）〔重複〕
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている	○ 女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数	ジェンダーギャップ対策室	0事業所 (2018年度)	11事業所	12事業所	17事業所	18事業所	20事業所増 (5年間)	
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	○ ファミリサポートセンター会員数	こども未来課	178人 (2018年度)	261人	299人	330人	380人	280人 (2024年度)	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支え合っている	—	—	—	—	—	—	—	—	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	○ 子育て中の就労促進事業による就職内定者数	ジェンダーギャップ対策室	22人 (2018年度)	—	2人	—	—	150人増 (5年間)	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進

主要手段－具体的手段		重要業績評価指標（KPI）	担当課	基準値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023年度 実績値	目標値 (2024年)	2023年度事業
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている	○ 移輸出額	環境経済課	267,606百万円 (2017年度)	240,045百万円	264,592百万円	公表前	公表前	233,473百万円 (2024年度)	
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	○ 観光消費額（インバウンド宿泊者）	観光政策課	1,096百万円 (2017年度)	290百万円	10百万円	257百万円	2,815百万円	2,502百万円 (2024年度)	城崎温泉街交通環境改善、観光事業（国内誘客推進、観光施策評価データ収集等）、観光まちづくり推進（専門人材配置）、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、文化観光推進
		○ 豊岡演劇祭の市外からの来訪者数	観光政策課	600人 (2019年度)	624人	0人	1,265人	970人	4,300人 (2024年度)	
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	○ コウノトリ育むお米輸出総量	農林水産課	17.2トン (2018年度)	17.3トン	18.6トン	18.6トン	17.3トン	60トン (2024年度)	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	○ アーティスト・イン・レジデンス滞在者数 *累計	文化・スポーツ振興課	1,066人 (2018年度)	1,817人	2,159人	2,353人	2,512人	1,970人 (2024年度)	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン2023、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2023参加）、城崎国際アートセンター運営・事業（アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2023参加等）、アーティスト・イン・レジデンス、専門職大学連携（移住等促進事業）〔重複〕、演劇のまちづくり推進、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学連携推進〔地域連携事業〕〔重複〕
		○ アーティスト・クリエイター移住者数	地域づくり課	5人 (2019年度)	16人	9人	1人	1人	35人増 (5年間)	
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	○ イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数	学校教育課	45人 (2019年度)	—	0人	0人	25人	270人増 (5年間)	専門職大学連携推進（地域連携事業）、Uターン推進（高校生の総合学習等支援）〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合	学校教育課	小学生63.9% 中学生39.5% (2019年度)	小学生61.6% 中学生51.4%	小学生55.9% 中学生50.7%	小学生54.8% 中学生43.6%	小学生79.4% 中学生77.8%	小学生68.9% 中学生44.5% (2024年度)	
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	○ ふるさととのひとやものと関わる活動を通して、ふるさとや自分のことで、何か新たに発見したり、考えたりしたことがあった児童・生徒の割合	学校教育課	小学生84.6% 中学生83.0% (2020年度)	小学生84.6% 中学生83.0%	小学生86.3% 中学生85.6%	小学生84.3% 中学生86.6%	小学生83.7% 中学生81.8%	小学生88.7% 中学生86.0% (2024年度)	専門職大学連携推進（地域連携事業）、Uターン推進（高校生の総合学習等支援）〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	○ 自分自身が関わって豊岡をよくしていこうと思う高校生の割合	地域づくり課	未測定	35%	36%	49%	51%	70% (2024年度)	Uターン推進（高校生の総合学習等支援）〔重複〕、ふるさと教育推進〔重複〕
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	○ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合	学校教育課	小学生83.6% 中学生78.8% (2019年度)	小学生84.9% 中学生85.6%	小学生82.8% 中学生80.3%	小学生87.0% 中学生81.2%	小学生87.1% 中学生87.4%	小学生88.6% 中学生83.8% (2024年度)	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進
		○ 中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	学校教育課	55.3% (2019年度)	58%	59%	60%	55%	70% (2024年度)	
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている	○ 婚姻数	地域づくり課	282組 (2018年)	263組	266組	243組	秋公表	287組 (2024年)	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	○ 婚活イベントによる成婚数	地域づくり課	0組 (2018年度)	1組	0組	1組	1組	5組増 (5年間)	若者独身者交流
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	○ 出会い機会創出事業による成婚数	地域づくり課	8組 (2018年度)	10組	10組	6組	8組	50組増 (5年間)	ボランティア仲人養成（WEDDINGプロデュース大作戦）、出会い機会創出（はーとビー）、若者独身者交流〔重複〕
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	○ ボランティア仲人による成婚数	地域づくり課	1組 (2018年度)	6組	11組	13組	9組	23組増 (5年間)	ボランティア仲人養成（縁むすびさん）、結婚相談所機能拡充、結婚・女性活躍推進調査、出会い機会創出（はーとビー）〔重複〕
		○ 結婚相談所による成婚数	地域づくり課	5組 (2018年度)	4組	3組	2組	1組	42組増 (5年間)	